

令和9年度県立高校入試 の変更点について

- ・県が公立高校入試の情報を追加
- ・解答がマークシート方式に
- ・面接の流れと評価規準
- ・各校の選抜実施内容暫定版を公開



入間市教育委員会
家庭教育応援通信
2026年2月



こんにちは
こちらは入間市教育委員会です
2025年1月の家庭教育応援通信で、
「埼玉県の入試について知ろう」と題し
て、これまでの入試制度の移り変わり等
についてお伝えしました。

今回は、令和9年度県公立高校入試
の変更点についてお伝えします。



9年度入試の主な変更点

ア 調査書の様式変更と自己評価資料の提出

- ・調査書で出欠席や特別活動の記録が無くなり、成績（5段階）のみに
- ・志願者が自身のことについて「自己評価資料」として作成、高校へ提出

イ 面接を全ての志願者に実施

ウ 選抜の特色化

- ・共通選抜と特色選抜の導入

今回の追加情報

埼玉県教育委員会から、県ホームページに、令和9年度入試についての新たな案内が掲載されました。（令和7年8月）

出題内容と出題形式

- ・国語の作文の扱い
- ・マークシート方式の導入とサンプル問題

面接の形式や内容

- ・ねらい、形式、流れ、評価規準など
- ・マイボイスについて

「令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報」



外 Foreign Language 女子女子サイズ・色合い選択 対応読み上げ

Google



トップページ | くらし・環境 | 営農・林業 | しごと・雇用 | 文化・教育 | 県政情報・統計 | 認証・認定

トップページ > 文化・教育 > 県政教育 > 入試・取組入学者 > 埼玉県立高等学校入学者選抜情報 > 令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報



教務委員会トップ	埼玉県教育委員会	主要計画・大綱	学校教育	生涯学習・文化部	幼稚・幼稚
----------	----------	---------	------	----------	-------

▶ 埼玉県公立高等学校入学者選抜情報

令和4年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報

令和5年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報

令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報

入学者選抜の改善に関する

PDF 188KB

PDF 156KB

Tweet

PDF

ページ番号: 257619 | 確認日: 2025年8月29日

令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜に関する情報

令和9年度入試情報（令和9年2月実施予定）

1.日程等

1. 令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜の日程(令和7年5月22日発表) (PDF: 71KB) 1

2. 実施基本方針・実施要項等

出題内容と出題形式

出題の基本方針は、原則、現行どおりの予定

- ・ただし、国語の作文は出題しない
- ・英語のリスニングは実施予定

解答方法にマークシート方式を導入

- ・マークシート方式の問題が9割程度、記述式の問題が1割程度になる予定

⇒全部がマークシートになるわけではない。

配慮が必要な志願者には変更もある。

マークシート方式とは

選択肢の中から正解を選び、解答用紙にあるマークを塗りつぶしたものを、機械で読み取って採点する方式の試験です。採点時間を短縮し、人的ミスを減らす利点があります。

解答する際は、正しく塗る、塗り忘れない、位置を間違えない等の注意が必要です。



○



✗ 線



✗ 不十分



✗ はみ出し



✗ 梓のみ



✗ レ点



✗ 薄い

解答用紙（A4版両面印刷）の例

表 (マークシート方式)

裏 (記述式)

数学 解答用紙 (2)

サンプル

記述欄

1

(説明)

30

□

△×□

2

(説明)

(3)

サンプル問題

県教育委員会は、過去の学力検査問題の一部をマークシート方式に変更し、サンプル問題として県ホームページに公開しています。

国語の問題例

同じ漢字をア～エの4つの選択肢から一つ選びなさい

小銭をサイフに… ア 商品のフ力価値を…

イ フダンから気を…

ウ 資金がホウフに…

エ 法律をフコク…

面接について

県教育委員会は、令和7年8月に、面接についてのリーフレットを県ホームページに公開しました。面接の形式は集団または個人で、時間は1人当たり10分程度とのことです。



令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜
(主に令和7年度の中学校2年生が受検する入試)

面接について

令和9年度埼玉県公立高等学校入学者選抜から、全ての受検生に「面接」を実施します。

「面接」で大切にすること

令和9年2月に実施する埼玉県公立高校入試から、全ての受検生に「面接」を行います。

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を、総合的に測ります。

「面接」は、中学校での学習活動や特別活動、部活動を含む学校生活、そのほか地域での活動などを振り返り、これまでに力を注いだこと、努力したこと、高校入学後や将来取り組んでみたいことなどを、自分の言葉で表現する場です。

大切なのは、どんな成果を出したかではなく、なぜそのことに取り組んだのか、どんな気持ちで続けてきたのか、子

9年度入試での面接日程

1月26日～2月9日

志願者は自己評価資料を作成し、そのコピーを志望校に提出（本書は志願者が保管）

2月25日 学力検査

2月26日 面接

＜面接当日の流れ＞



入室⇒M y V o i c e⇒質問・応答⇒退室

1分30秒～2分程度

3分30秒～6分程度

My Voice(マイボイス)

面接の始めに「My Voiceマイボイス」の時間を設定します。（1分30秒～2分程度）

マイボイスは、志願者が中学校内外の活動を振り返って自分の言葉で表現する時間のことです。自己評価資料を参考にできます。

その後、面接委員（高校の先生）からの質問に応答します。（3分30秒～6分程度）

面接の評価

自己評価資料そのものは得点の算出には用いません（採点外）。

面接では、学校内外での活動の経歴や役職、大会等の実績、資格等を評価するのではなく、取組の過程や意欲等（本人の意欲、身についた力、学びに向かう力など）について評価するとのことです。評価の観点、評価規準は、県教委が定めています。

県のリーフレットを参考に

前述の「面接についてのリーフレット」には、面接についてのQ & Aなどもあって詳しく説明しているので参考にしてください。

＜県教委の評価の観点と規準＞

観点 1 主体的・協働的な学びの力

規準 これまでの自身の活動を振り返りながら、持続可能な社会の創り手となるために、主体的・協働的に学び続ける意欲を持っているか。

観点2 自らの人生や社会の未来を切り拓く力

規準 自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら、自らの人生や社会の未来を切り拓こうとしているか。

評価 5～3の3段階

「5」大変優れたものとして評価できる

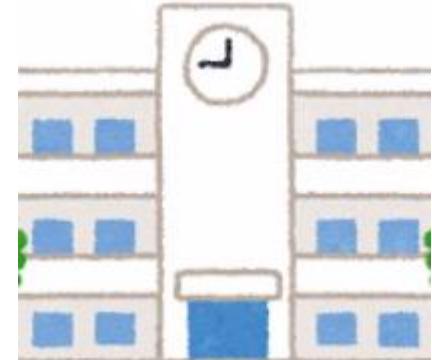
「4」優れたものとして評価できる

「3」評価に値する

共通選抜と特色選抜

各高校は、共通選抜と特色選抜について、次の3つの選抜方法の中から1つ選んで選抜します。

- 共通選抜のみ実施
- 共通選抜と特色選抜を実施
- 特色選抜のみ実施



選抜の特色化とは

各高校は、特色選抜を採用することで、自校の方針や、学科・コースの特色に合う選抜方法を独自に定めることができます

◆共通選抜と特色選抜では、何が違うの？

共通選抜

各高校は、県が定める次の方法によって、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（国数社理英）、合計500点満点
- ・調査書 各高校は、9教科5段階の評定を
1年:2年:3年 = 1:1:1 or 1:1:2 or 1:1:3
のいずれかを選択
→この基本点を、200 or 300 or 400点満点に換算
- ・面接 各高校は、30点 or 60点のいずれかを選択

特色選抜

学科、コース等の特色に応じて、各高校が定める方法で、選抜資料の得点を算出します。

- ・学力検査 1教科100点（5教科）合計500点満点を基本点
3教科まで150 or 200点で傾斜配点が可能
- ・調査書 評定の各学年の比率（1年:2年:3年）、得点は各高校が定める
- ・面接 得点は、各高校が定める
- ・特色検査=実技検査 or 作文(小論文)
実施する場合は、学力検査・調査書・面接に
加えて資料とする

選抜を、共通選抜のみで実施するか、特色選抜のみで実施するか、
共通選抜と特色選抜の両方を組み合わせて実施するかは、各高校が決定します。

共通選抜と特色選抜の 違いは？

得点算出の資料は、どちらも、「学力検査」、「調査書」、「面接」です。ただし、特色選抜では、「特色検査」を加えることもできます。

最も大きな違いは、得点の算出方法です。特色選抜では、学力検査、調査書、面接の得点を、県の計算方法と異なる学校独自の計算方法によって算出できるのです。

特色選抜では

特色選抜は、以下のようなことができます。

学力検査	傾斜配点ができる
学習の記録	各学年の比率を独自に設定できる
面接	県の規準で評価するが、得点の算出方法は独自に設定できる
特色検査	実技検査または作文（小論文）を実施できる

傾斜配点とは

特色選抜は、学力検査で傾斜配点ができます。例えば、数学を重視して150点にするとか、英語を重視して200点にするとかです。

共通選抜	特色選抜
各教科100点 5科500点満点	各教科100点 3教科まで、150点または200点の傾斜配点にできる

調査書の得点算出方法

共通選抜	特色選抜
<p>各学年の比率を、次の①～③から選択</p> <p>①1:1:1 (135点満点) ②1:1:2 (180点満点) ③1:1:3 (225点満点)</p> <p>この結果をさらに200点、300点、400点のいずれかに換算する</p>	<p>各学年の比率は各高校が決める。</p> <ul style="list-style-type: none">・比は整数で合計が10を超えないこと <p>この結果に各高校が定めた数をかけたもののを得点とする。</p> <ul style="list-style-type: none">・135点を下回らないこと

調査書の何を重視するか

例えば、共通選抜でも換算方法を変えて、

- ① 1 : 1 : 1 ⇒ 3年間を通して評価
- ③ 1 : 1 : 3 ⇒ 3年での成績を重視して評価

200点に換算 ⇒ 学力検査の得点を重視

400点に換算 ⇒ 3年間の成績を評価

とできます。特色選抜は、さらに独自に算出方法を設定して、どの部分の得点を評価するか、より打ち出しやすくなつたと言えます。

面接の得点算出

面接でも、
共通選抜 30点満点か、2倍の60点か
特色選抜 30点に各校が定めた数をかける
また、「学校独自項目」を設定可
となっています。

ただし、調査書と面接の得点が、学力検査
の基本点（500点満点）の1.5倍を超えない
ことという制約はあります。

合格の割合は各校の裁量

共通選抜にしても、特別選抜にしても、1次選抜で一定の合格者を決めて、残りを2次選抜で決定します。

例えば、1次では定員の7割について学力検査を重視、2次では残り3割を調査書を重視して合格させる、といったように各高校が決めるのです。

例を見てみましょう。

募集学科等	普通科	①第1次	60%	
		②第2次	40%	

選抜の種類	特色選抜（第1次選抜）			特色選抜（第2次選抜）						
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科			国語・社会・数学・理科・英語の5教科						
	数学 (200点)	英語 (200点)	で傾斜配点を実施	数学 (200点)	英語 (200点)	で傾斜配点を実施				
数学と英語は、学校選択問題を実施する										
調査書	学年間の 比率	1年 1	2年 1	3年 3	基本点 225	学年間の 比率	1年 1	2年 1	3年 3	基本点 225

選抜資料 配点	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計
	700	400	30	0	1130	700	300	30	0	1030

募集学科等	普通科	①第1次	70%							
		②第2次	30%							
選抜の種類	特色選抜（第1次選抜）			特色選抜（第2次選抜）						
学力検査	国語・社会・数学・理科・英語の5教科			国語・社会・数学・理科・英語の5教科						
	数学 (200点)	英語 (200点)	で傾斜配点を実施	数学と英語は、学校選択問題を実施する						
調査書	学年間の 比率	1年 2	2年 2	3年 3	基本点 315	学年間の 比率	1年 1	2年 1	3年 2	基本点 180
選抜資料 配点	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計	学力検査	調査書	面接	特色検査	合計
	700	200	30	0	930	500	500	30	0	1030

A 高校

B 高校

両校とも学校選択問題、傾斜配点を採用していて学力検査重視です（A校は2次も傾斜配点）。ただ、調査書の扱いで、A校は3年生の成績を重視。B校は1、2年も評価、また2次では調査書を学力検査と同じ比率で評価しています。

特色検査とは

各高校は、実技検査または作文（小論文）を実施できます。

- ・実技検査の内容は、令和8年5月公表予定
- ・作文の時間は、原則30分～60分、字数は、原則600字～1000字

よく使われる400字詰め原稿用紙で1枚半から2枚半になります。

特別な選抜

不登校の生徒などを対象とした特別な選抜があります。

その場合、志願者は、自己申告書を提出します。選抜の資料は、学力検査、面接、特色検査（実施校のみ）の得点と、自己申告書の内容になります。調査書は資料としません。事前によく中学校と話し合っておくことが必要です。

今回は、
令和9年度県公立高校入試についての変更点
と題して考えてみました。

令和7年12月に各高校の選抜方法が
暫定版として公開されています。
詳しくは、埼玉県のホームページで
確認できますのでご覧ください。
ありがとうございました。



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」